

2022年10月17日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社昭文社

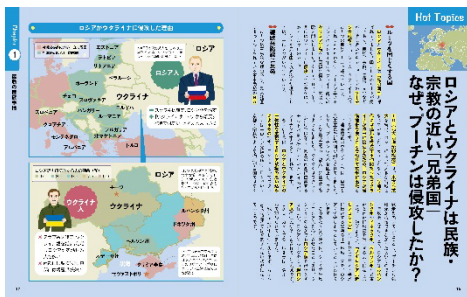
ウクライナ、ウイグル、黒人差別・・・
混迷を極める21世紀の世界を見通す書

国際情勢を理解するためのキーワードは「民族」だった！
『地図でスツと頭に入る世界の民族と紛争』を10/31発売

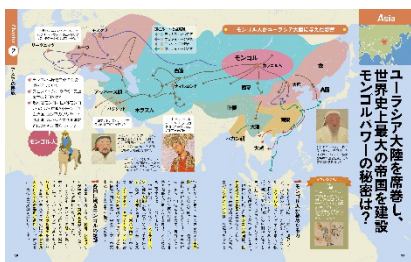
～ウクライナ、ウイグル、ロヒンギャ、極右政党台頭・・・民族を紐解くと世界のニュースがわかる！～



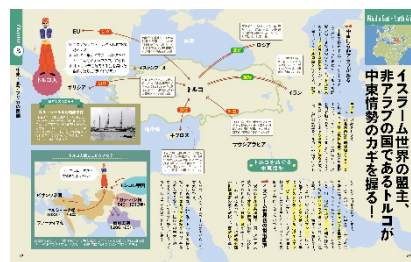
<表紙>



<代表誌面>



<モンゴルパワーの秘密は？>



<トルコが中東情勢のカギを握る！>



<バルカン半島の民族事情>

株式会社昭文社ホールディングス（本社：千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）とその子会社である株式会社昭文社（本社：千代田区麹町、代表取締役 川村哲也、以下昭文社）は、大ヒットシリーズ「地図でスツと頭に入る」の最新刊『地図でスツと頭に入る世界の民族と紛争』を2022年10月31日より発売することをお知らせいたします。

今回は、混迷を極める現代の国際社会を理解するのに必須のテーマ、「民族と紛争」に焦点を当てました。

)) 本書の特長 ((

誰もが驚いたロシアのウクライナ侵攻から8カ月。「兄弟国」とも言われてきた両国の戦いは、民族というものの複雑さ、歴史の重み、相互理解の困難さといったものを痛切に感じさせます。

遠い昔から、**民族間の軋轢**は世界情勢を大きく左右し、これまで幾度となく、中東・アラブ地域の対立やアフリカの内紛など、紛争の火種となってきました。

最近では、ウクライナ以外にもアフガニスタンで**タリバン**政権が復権を果たし、欧州では**極右政党**が躍進を遂げつつあります。アジアに目を向ければ、中国の**ウイグル族**、**チベット族**の迫害、ミャンマーの**ロヒンギャ**難民が国際ニュースにたびたび登場します。

これらの背景にはおしなべて民族問題が絡んでおり、本書はその「**民族**」をキーワードに、歴史的背景から今日に至る火種の要因まで、シリーズの特長である地図や図解を駆使して、わかりやすく徹底解説しました。

2022年10月17日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社昭文社

)) 誌面構成 ((

|| 主な内容

◆民族のキホン

◆Chapter1 最新の民族事情

◆Chapter2 アジアの民族

◆Chapter3 中東・北アフリカの民族

◆Chapter4 ヨーロッパ・ロシアの民族

◆Chapter5 アフリカの民族

◆Chapter6 南北アメリカ・オセアニアの民族

◆Column

◆写真で見る民族紛争



＜写真で見る民族紛争
「中東・北アフリカ編」＞

)) 監修者プロフィール ((

|| 祝田 秀全 (いわた しゅうぜん)

東京出身。歴史学専攻。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員を経て、聖心女子大学文学部歴史社会学科講師。

主な著書・監修書に『銀の世界史』(筑摩書房)、『東大生が身につけている教養としての世界史』(河出書房新社)、『2時間でおさらいできる世界史』(大和書房)、『歴史が面白くなる東大のディープな世界史』(中経出版)、『エリア別だから流れがつながる世界史』(朝日新聞出版)、『近代建築で読み解く日本』(祥伝社)などがある。本シリーズでは『地図でスツと頭に入る世界史』に続き、2度目の監修。

趣味は古典落語鑑賞、コーヒー飲用。ジャマイカのあの山の中腹でとれるコーヒー豆を炒って飲んでみたい。

)) 商品概要 ((

商品名 : 『地図でスツと頭に入る世界の民族と紛争』

体裁・頁数 : B5 変判、本体 144 頁

発売日 : 2022年10月31日

全国の主要書店で販売

定価 : 1,650 円 (本体 1,500 円 + 税 10%)

出版社 : 株式会社 昭文社

)) 「スツと頭に入る」シリーズについて ((

|| 「歴史」と「地理」に着目、複雑な歴史経緯や地理的な特徴をスツと頭に入るように整理

|| 歴史の一コマを形成した地理的背景、時間の経過を地図にプロット、過去を地図上に見える化

|| イラストや図説もふんだんに入れ、全体的に読みやすくわかりやすいページを追求

|| 押さえておくべき内容を「POINT」でまとめ、必要最低限の文章量で出来事を要約

様々な事件と時代背景がすっきり整理され、うろ覚えのキーワードからもひもとける作りは、社会人の学び直しや、無味乾燥な教科書では記憶しにくい中学・高校生のサブテキストとして最適です。